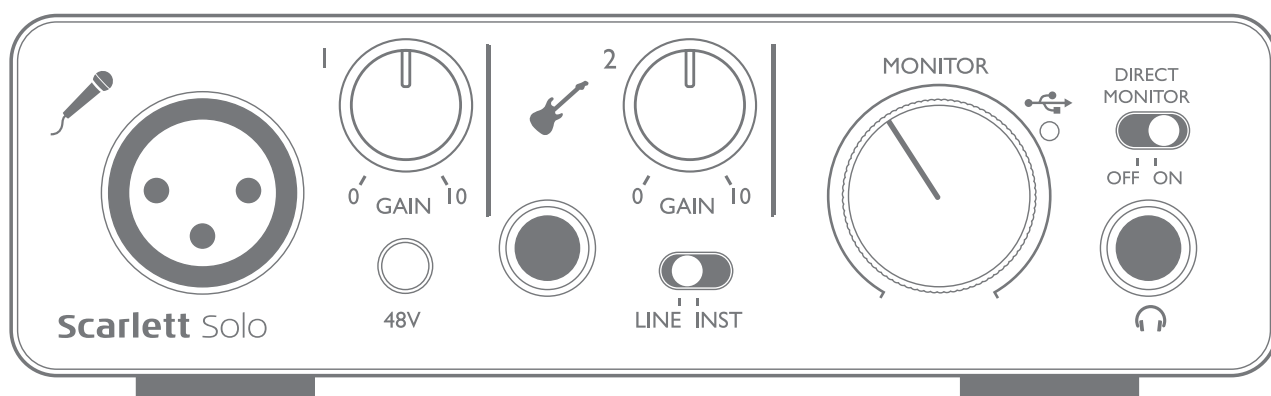


Scarlett Solo

ユーザーガイド



目次

概要	3
はじめに	3
特徴	3
同梱物	4
システム要件	4
Mac OS	4
Windows	4
さあ、始めましょう	5
ソフトウェアのインストール	5
Mac OS	6
Windows	6
電源を入れる	6
Scarlett Solo の接続	7
DAW でのオーディオセットアップ	7
使用例	9
マイクまたは楽器の接続	9
ダイレクトモニタリングの使用	10
ヘッドフォンでのモニタリング	10
ラウドスピーカーへの接続	11
各部の名称と特徴	13
フロントパネル	13
リアパネル	14
性能仕様	15
物理的特性と電気的特性	16
トラブルシューティング	17
著作権表示と法定通知	17

概要

はじめに

第2世代の Scarlett Solo を購入いただきありがとうございます。本製品は、Focusrite プロフェッショナル用オーディオインターフェースシリーズの1つで、高品質 Focusrite アナログプリアンプが搭載されています。高品質オーディオをお使いのコンピュータルーティングするシンプルでコンパクトなソリューションをご利用頂けます。

Scarlett インターフェイスの第二世代シリーズの開発に際しては、パフォーマンスと機能セットの両方が強化されました。最大 192kHz のサンプルレートに対応するほか、低ノイズ化やゲインの大幅な増加など様々な改善によりマイクプリアンプの性能が向上しました。ヘッドルームが追加されてインストゥルメント入力がアップグレードし、大きなレベルのギターのパートもクリッピングせずに録音することができます。Mac とはクラスコンプライアントなので、接続すればすぐにお使い頂けます。そのため、Mac ユーザーの方はドライバーをインストールする必要がありません。また、購入された製品を登録すると、エキサイティングな新しいソフトウェアプラグインをダウンロードすることも可能です。

このユーザーガイドでは、本製品の操作上の機能を十分理解いただくためにハードウェアの詳細を説明しています。弊社では、コンピュータベースのレコーディングが初めてのユーザーの方、既に経験のあるユーザーの方に関わらず、全ての方にユーザーガイドを読み通して頂くことを推奨しています。そうすることで、Scarlett Solo および付属ソフトウェアの機能すべてを完全に把握して頂けます。メインのユーザーガイドのセクションに必要な情報が記載されていない場合は、必ず<https://support.focusrite.com/>をご覧ください。本サイトには、広範囲にわたる一般的なサポート問い合わせ内容が掲載されています。

特徴

Scarlett Solo インターフェイスでは、マイク、楽器またはラインレベルのオーディオ信号を Mac OS や Windows コンピューターに接続することができます。接続された信号は、お使いのオーディオレコーディングソフトウェア/デジタルオーディオワークステーション（本ユーザーガイド全体を通して「DAW」と称します）へ最大 24 ビット、192kHz の解像度でルーティングすることができます。同様に、DAW のモニターもしくはレコーディングされた出力は、本製品の出力部へ送られます。

これにより、コンピュータ上に用意されたインストゥルメントの代わりに（または一緒に）実際の楽器を Ableton Live Lite や GarageBand®（または使用されているいかなる DAW）に録音することができます。出力部はアンプやスピーカー、パワードモニター、ヘッドフォン、またはその他のオーディオ機器にアナログ入力で接続することができます。Scarlett Solo 上のすべての入出力は、レコーディングや再生の際直接 DAW との間でルーティングされますが、ユーザーのニーズに合わせて DAW 内部でルーティングを構成することも可能です。ダイレクトモニタリング機能を使用することで、コンピュータのレイテンシーの影響を受けることなく演奏中の音源をモニターすることができます。

同梱物

Scarlett Solo には以下の付属品が含まれています。

- 以下のオンラインリソースにアクセスするためのバンドルコード*：
 - Windows用 Solo USB ドライバー
 - Focusrite Red 2 & 3 プラグインスイート
 - Softube Time and Tone バンドル
 - ProTools | First
 - Ableton Live Lite
 - LoopMasters サンプルライブラリ
 - Novation Bass station
 - 多言語対応ユーザーガイド
- USB ケーブル
- Getting Started Guide および重要な安全情報*

* ギフトボックス内側に記載された情報

システム要件

Mac OS

USB 2.0 または 3.0 対応の USB ポートが搭載された Apple Macintosh とインターネット接続*

OS : Mac OS X 10.10 (Yosemite) または OS X 10.11 (El Capitan)

Windows

USB 2.0 または 3.0 対応の USB ポートを搭載した Windows とインターネット接続*

OS : Windows 7 (32 または 64 ビット) , 8.1 および 10

* オンラインリソースのダウンロードには、インターネット接続が必要です。

さあ、始めましょう

重要: Windows ユーザー - お使いのコンピュータに Scarlett Solo を接続する前にインストーラを実行するようにしてください。

第 2 世代 Scarlett Solo は Mac の標準ドライバ (クラスコンプライアント) で動作します。そのため、ドライバのインストールは不要です。

ソフトウェアのインストール

Scarlett Solo に必要なすべてのソフトウェアおよび複数の強力かつ便利な追加ツールは、Focusrite ウェブサイト www.focusrite.com/register からダウンロードできます。「バンドルコード」はお使いの Scarlett Solo に付属のギフトボックス内に記載されています。また、シリアル番号は本製品の下側に記載されています。これらの情報は、ウェブサイトのダウンロードリソースにアクセスする際に必要となります。本手順に従うことで、最新バージョンのソフトウェアを入手することが可能です。

DOWNLOADING THE INCLUDED SOFTWARE

To download the included software, you will need to register your Scarlett Solo at www.focusrite.com/register

You will need the product serial number which can be found on the underside of the Solo hardware.

Once you have entered the serial number, you will be asked to enter your BUNDLE CODE, found below:

XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX

Focusrite is a trade mark of Focusrite Audio Engineering Limited registered in the UK and other countries.
Scarlett Solo is a trade mark of Focusrite Audio Engineering Limited registered in the UK and other countries.
2016 © Focusrite Audio Engineering Limited. All rights reserved.

1. お使いのブラウザで、www.focusrite.com/register/ にアクセスします。
2. 画面上の指示に従ってシリアル番号を入力し、次に、バンドルコード (XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX) を入力します。バンドルコードはギフトボックス内側に記載されています。
3. すると「My Product」ページにアクセスできるようになるので、こちらで登録した製品のソフトウェア製品をダウンロードが可能です。また製品には、必要に応じてアクティベーションコードが含まれています。
4. Scarlett Solo ドライバーをダウンロードしてインストールします (Windows のみ)。画面上のすべての指示に従います。
 - インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。
 - 再起動後、付属の USB ケーブルで Scarlett Solo をお使いのコンピュータに接続します。

本ガイドには、2016 年 5 月時点での正確な情報が記載されています。ただし、弊社はカスタマーエクスペリエンスの向上に常に取り組んでいるため、この手順は変更されることがあります。内容に変更があると思われる場合は、www.focusrite.com/get-started で最新の情報をご確認ください。

Mac OS:

お使いの OS は、コンピュータのオーディオのデフォルト入出力を自動的に Scarlett Solo に切り替えます。これを確認するには、**【システム環境設定】→【サウンド】**に移動し、入出力が**【Scarlett Solo】**に設定されていることを確認します。Mac のセットアップオプション詳細については、**【アプリケーション】→【ユーティリティ】→【AUDIO MIDI設定】**の順に表示させて、参照してください。

Windows:

お使いの OS は、コンピュータのオーディオのデフォルト入出力を自動的に Scarlett Solo に切り替えます。これを確認するには、**【スタート】→【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】→【サウンド】→【オーディオデバイスの管理】**に移動して、**【再生】**および**【録音】**が**【Scarlett Solo】**に設定されていることを確認します。

電源を入れる

Scarlett Solo の使用には DC 電源のソースが必要です。DC 電源は コンピュータから供給が行えるため、一本の USB ケーブルでコンピュータに接続するだけで使用が可能です。別途電源を用意する必要ありませんのでご注意ください。

Scarlett Solo と互換性のある Mac または Windows の USB ポートから電源を得れば、問題ありません。ただし、一部のノートパソコンの USB ポートでは外部 AC 電源が内部バッテリーで駆動している際の電流と比べて、同じ電流を供給できない場合がありますのでご注意ください。そのため、ノートパソコンで Scarlett Solo を使用している場合、AC アダプターでノートパソコンに電源を供給することを強く推奨します。

Scarlett Solo の接続

重要 - Windows : Scarlett Solo をお使いのコンピュータに接続する前に、ページ 5 に記載されている指示に従ってソフトウェアのインストールを完了してください。これにより、ハードウェアが正しいドライバを使用し、予期せぬ動作を防止することができます。

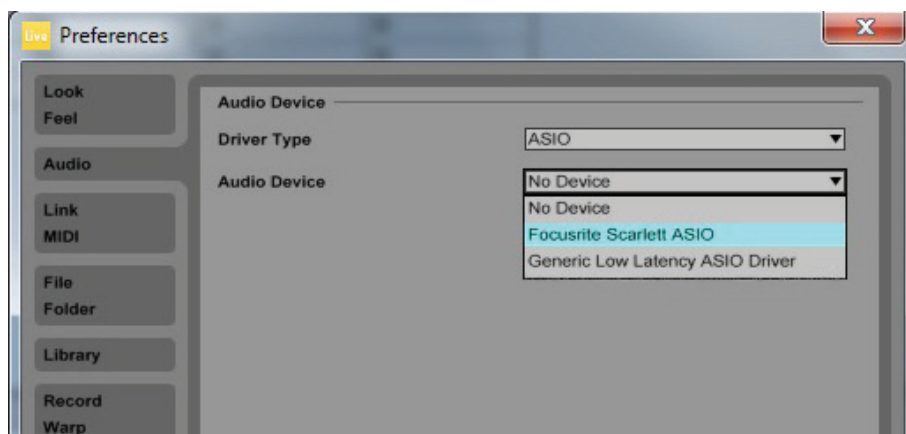
Scarlett Solo には USB 2.0 ポートが（リアパネル上に）備わっています。ソフトウェアのインストール（必要な場合）が完了したら、付属の USB ケーブルでお使いのコンピュータに Scarlett Solo に接続するだけです。Scarlett Solo は USB 2.0 デバイスに対応しています。USB を接続するには、USB 2.0 以上のポートがコンピュータになければなりませんのでご注意ください。USB 1.0/1.1 ポートでは正しく動作しません。

DAWでのオーディオセットアップ

Scarlett Soloは、ASIO または WDM 対応のすべての Windows ベースの DAW および Core Audio を使用するすべての Mac ベースの DAW と互換性があります。ドライバのインストール（Windows のみ）が完了し、Scarlett Solo を接続したら、お好みの DAW で Scarlett Solo の使用を開始することができます。DAW アプリケーションがお使いのコンピュータにインストールされていない場合でも本製品を使用できるように、Pro Tools | First および Ableton Live Lite がソフトウェアパッケージに付属しています。これらのソフトウェアは、購入された Scarlett Solo をオンラインで登録することで利用可能になります。いずれかの DAW をインストールするには、ページ 5 に説明されるように Focusrite の My Product ページから登録済みの Focusrite 製品から目的のインストーラファイルをダウンロードして保存し、画面上の全ての指示に従って実行します。

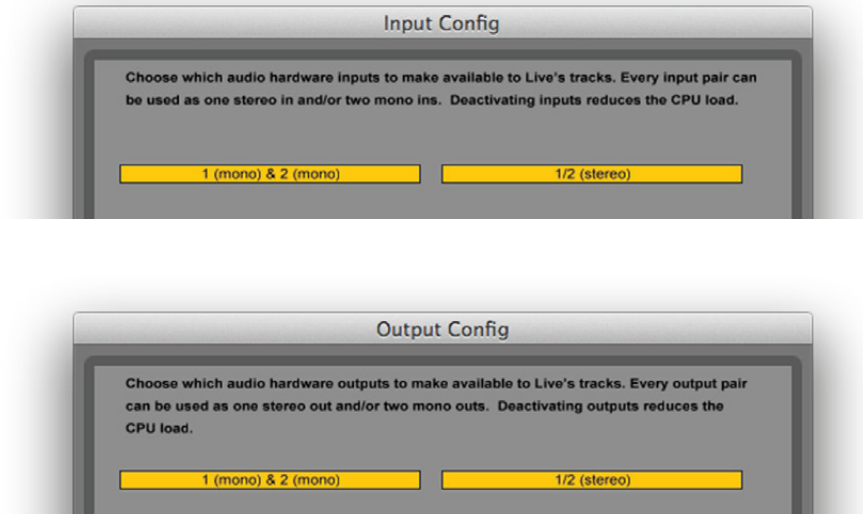
Pro Tools | First およびAbleton Live Liteの操作手順は、本ユーザーガイドの範囲外になりますが、どちらのアプリケーションにも完全なヘルプファイルが付属しています。

注意：デフォルトの I/O デバイスとして Scarlett Solo を自動的に選択しない場合があります。その場合、お使いの DAW のオーディオセットアップ*ページでドライバーとして「**Scarlett Solo**」を手動で選択する必要があります。ASIO または Core Audioドライバを選択する場所がわからない場合は、お使いの DAW のドキュメンテーション（またはヘルプファイル）を参照してください。以下の例では、Ableton Live Lite の【環境設定】パネル（Windows バージョンの場合）が表示されています。



*一般的な名称。この用語は、DAWによって若干異なることがあります。

Scarlett Solo がお使いの DAW でのオーディオデバイス*として認識されると、入出力が DAW の環境設定のオーディオのI/O欄に表示されます。お使いの DAW によっては、使用する前に特定の入力または出力を有効にする必要があります。以下の 2 つの例では、Ableton Live Lite の環境設定で有効にされている 2 つの入力と 2 つの出力が示されています。



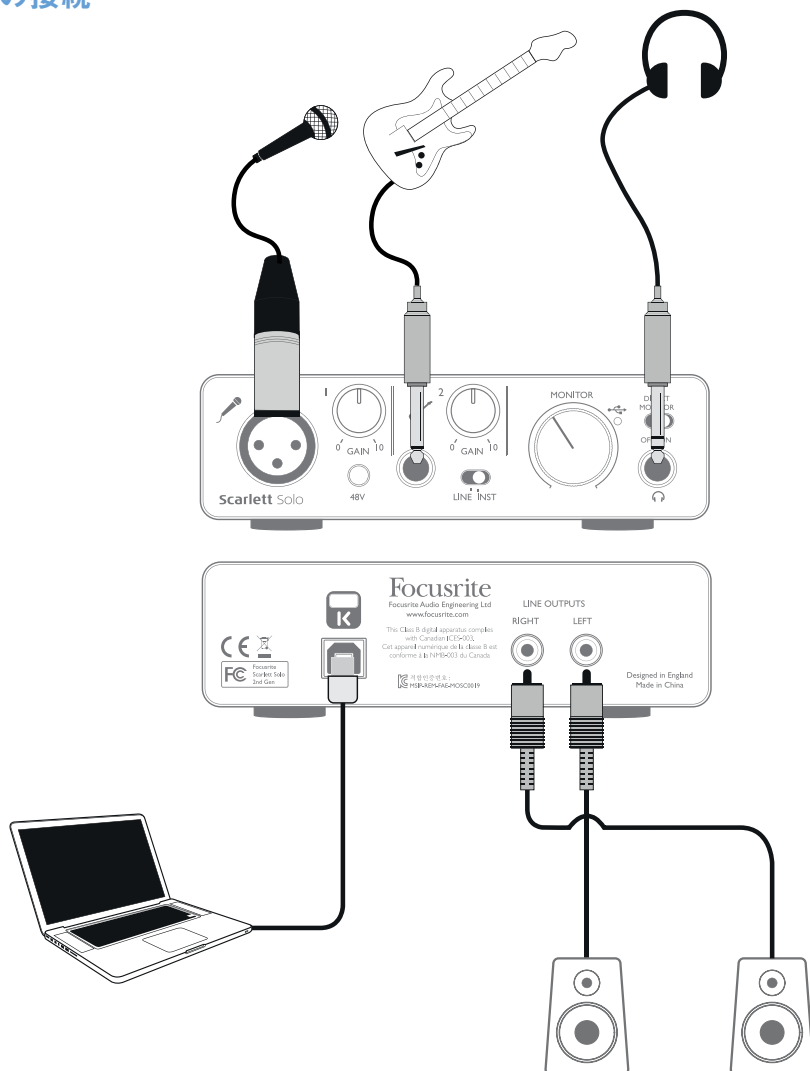
*一般的な名称。この用語は、DAW によって若干異なることがあります。

使用例

Scarlett Solo は、ノートパソコンまたは Windows や Mac などのその他のコンピュータで DAW アプリケーションを使用する際に理想的なオーディオインターフェースです。

一般的な接続例が以下に示されています。

マイクまたは楽器の接続



このセットアップは、Mac または Windows 上の DAW ソフトウェアでレコーディングを行う際の最も一般的な構成を示しています。この場合、ヘッドフォンからの再生をモニタリングしながら Input 1 ではボーカルを、Input 2 ではギターをレコーディングアプリケーションにレコーディングできます。

Scarlett Solo の入力部はフロントパネルに備わっています。Input 1 は標準の 3 ピン XLR ソケットを使用し、様々なタイプのマイクに対応するよう構成されています。多くの場合、マイクケーブルの端に XLR オスコネクタが備わっています。Input 2 では、1/4 インチ (6.35mm) ジャックソケット (楽器モードの場合は 2 極、ライン入力として使用されている場合は 3 極) が使用されています。また、Input 2 は、エレキギター、アコースティックギター、エレキベースまたはアコースティックベースからの信号に対応するよう設計されています。

48V ファンタム電源を必要とするスタジオコンデンサー（キャパシター）マイクを使用している場合には、**48V** ボタンを使用します。他のタイプのマイク（通常のダイナミックタイプ）を使用している場合は、ファンタム電源が供給されると機器に損傷が起きる可能性があります。低スペックのコンデンサーマイクでは、通常 15V など低いファンタム電源で使用が可能なものもあります。48V で作動させても安全かどうかマイクの仕様を必ず確認してください。それに応じて、適切な外部ファンタム電源を用意してください。

ダイレクトモニタリングの使用

デジタルオーディオに関する話の中で「レイテンシー」という用語を聞くことがよくあります。上記のような DAW レコーディングアプリケーションの場合、レイテンシーは、入力信号が録音を行っているデバイス（Mac または Windows）を通過するのにかかる時間を意味します。レイテンシーは、モニタリングしながらレコーディングを行いたい場合に障害となることがあります。

Scarlett Soloにはこの問題に対処するための「ダイレクトモニタリング」オプションが付いています。フロントパネルで **DIRECT MONITOR** スイッチを **ON** に設定すると、入力信号がScarlett Soloのヘッドフォンとメインモニター出力に直接ルーティングされます。これにより、コンピュータで再生される音と共に、ゼロレイテンシーで（つまりリアルタイムに）ご自身の音声を聞くことができます。お使いのコンピュータへの入力信号に影響が生じることはありません。

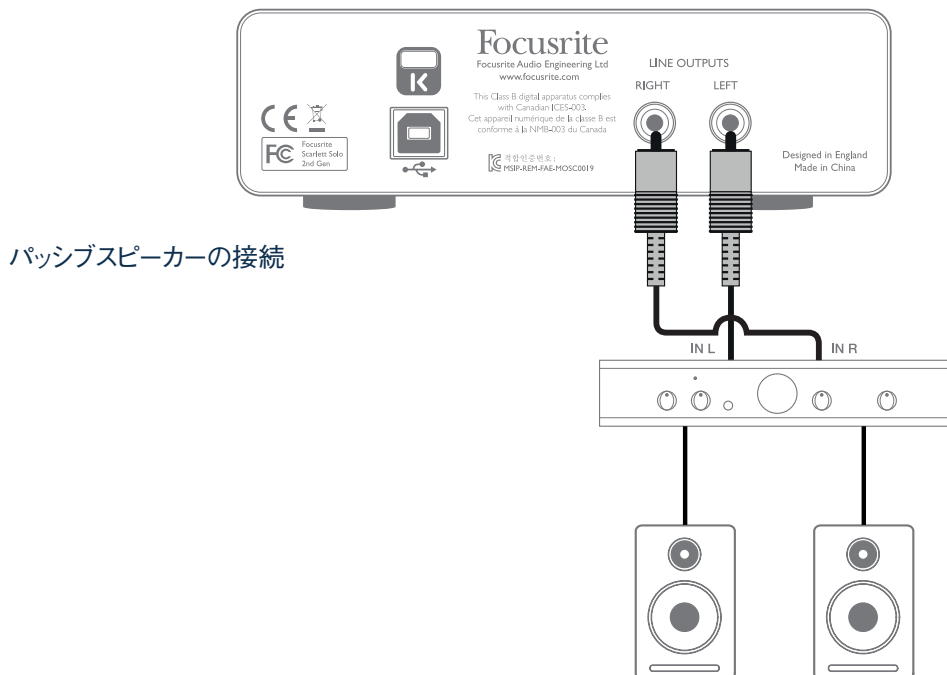
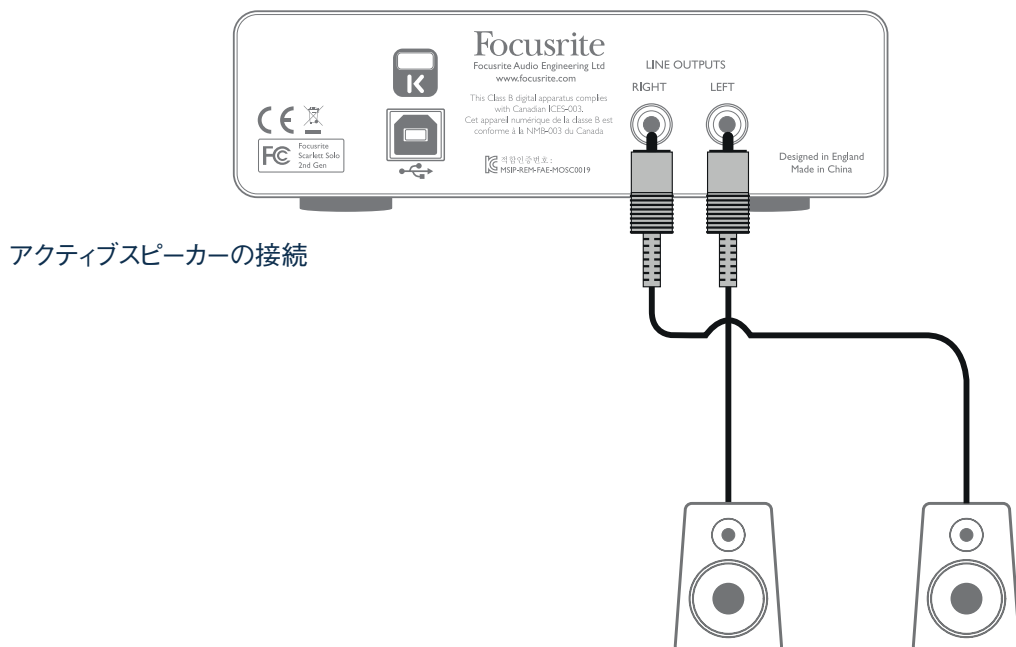
ダイレクトモニタリングをオンに設定する際は、お使いのレコーディングソフトウェアがその入力（現在レコーディング中のもの）を出力へルーティングするように設定されていないことを確認してください。そのように設定されている場合、一つの信号がエコーのように遅れて聞こえるので、音声は「2 回」聞こえてしまいます。

ヘッドフォンでのモニタリング

一組のステレオヘッドフォンをフロントパネルヘッドフォン端子に接続することで、現在入力されている（レコーディング中の）信号とコンピュータにすでにレコーディングされているトラックの両方を聞くことができます。注意：レコーディング時は、フロントパネルの **DIRECT MONITOR** スイッチを **ON** にしてください。すでにレコーディングされているトラックはステレオで、現在入力されている信号はモノラル（ステレオイメージでは中心に）で聞こえます。マイク入力と楽器入力の両方を使用している場合、それぞれの入力はモノラルになります。

ラウドスピーカーへの接続

リアパネルのフォノ (RCA) 出力は、モニタリングスピーカーを接続する際に使用できます。アンプ内蔵型のモニタースピーカー（一般的なコンピュートースピーカーなど）は、内部アンプと音量コントロールが一緒に組み込まれているため、直接接続することが可能です。大型のパッシブ・ラウドスピーカーには、別途ステレオアンプが必要です。この場合、リアパネルの出力部はアンプの入力部に接続する必要があります。

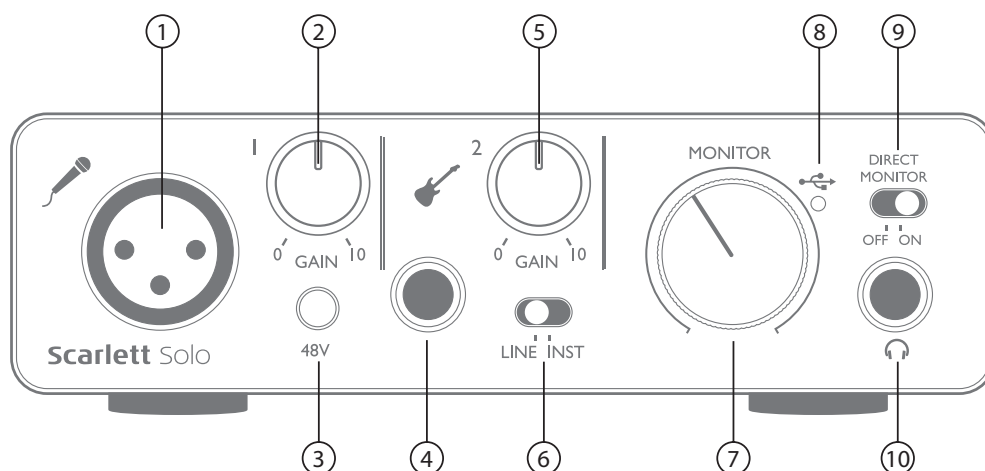


ライン出力コネクタは標準フォノ（RCA）ソケットです。一般的な家庭用（Hi-Fi）アンプと小型パワードモニターには、フォノ（RCA）ソケットまたは（コンピューターに直接接続するための）3.5mm 3 極シングルジャックプラグ上に入力が備わっています。いずれの場合も、一端にフォノプラグ（RCAジャック）の付いた適切な接続ケーブルを使用します。

注意：マイクと同時にラウドスピーカーがアクティブになっている場合、フィードバックループが生じる可能性があります。レコーディング中は必ずモニタリング用のスピーカーをオフにし（または音量を下げ）、オーバーダビング中はヘッドフォンを使用することを推奨します。

各部の名称と特徴

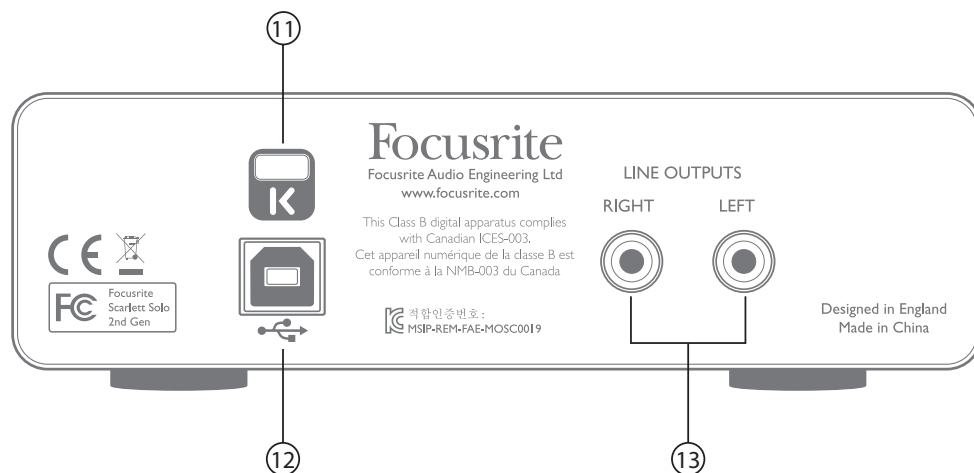
フロントパネル



フロントパネルには、マイクとライン/楽器信号用の入力コネクタ、入力ゲインおよびモニタリングコントロールが備わっています。

1. Input 1 – マイク用の 3 ピン XLR ソケット。バランス入力。
2. **GAIN 1** – Input 1 でのマイクのゲインを調整します。ゲインコントロールには、信号レベルを確認するために 2 色で示す同心円状の LED リングが備わっています。緑色は、最低-24dBFS（「信号あり」の状態）の入力レベルを示します。信号レベルが 0dBFSに達すると、リングが赤に変わり、デジタルクリッピングを示します。
3. **48V** – マイク入力のためのファンタム電源スイッチ - XLR 端子で 48V のファンタム電源を有効にできます。
4. Input 2 – 楽器（アンバランス）またはラインレベル（バランス）ソースの接続用。1/4 インチ TRS ジャックソケット。
5. **GAIN 2** – Input 2 でのライン/楽器信号のゲインを調節します。[2] 同様、ゲインコントロールには、信号レベルを確認するために 2 色で示されるLEDリングがあります。
6. **INST/LINE** – Input 2 のための楽器/ラインレベルスイッチ – 楽器またはラインレベル信号に応じてゲインを切り替えます。
7. **MONITOR** – メインモニター出力レベルコントロール - リアパネルの出力レベルとフロントパネルヘッドフォン出力の出力レベルを設定します。
8.  USB LED – 本体に USB バスパワーが供給され、コンピュータ上で認識されると点灯します。
9. **DIRECT MONITOR** – 入力部からの信号を直接モニタリングする（ON の場合）か、DAW を通したものをモニタリングする（OFF の場合）かをこのスイッチで選択できます。
10.  1/4 インチ TRS 出力ジャック - お使いのステレオヘッドフォンを接続します。

リアパネル



11. **K** (ケンジントンセキュリティロック) – 希望に応じて、お使いの Scarlett Solo に適切なセキュリティ対策を施します。この機能の使用方法に関する詳細な情報は、www.kensington.com/kensington/us/us/s/1704/kensington-security-slot.aspxをご覧ください。
12.  USB 2.0 ポート – タイプ B コネクタ。付属の USB ケーブルでお使いのノートパソコンまたはコンピュータに接続します。
13. **LINE OUTPUTS : RIGHT/LEFT** – 2 x フォノ (RCA) ソケット。最大出力レベル +9 dBu。

性能仕様

クロックソース	内部
対応サンプルレート	44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz
マイク入力	
ダイナミックレンジ	106dB (A特性)
周波数特性	20Hz ~ 20kHz $\pm$ 0.1dB
THD+N	<0.002% (最小ゲイン、-1dBFS入力、22Hz/22kHz バンドパスフィルタ)
ノイズ EIN	-128dB (A特性)
最大入力レベル	+4 dBu
ゲインレンジ	50dB
ライン入力	
ダイナミックレンジ	106dB (A特性)
周波数特性	20Hz ~ 20kHz、 $\pm$ 0.1dB
THD+N	<0.002% (最小ゲイン、-1dBFS入力、22Hz/22kHz バンドパスフィルタ)
最大入力レベル	+22 dBu
ゲインレンジ	50dB
楽器入力	
ダイナミックレンジ	106dB (A特性)
周波数特性	20Hz ~ 20kHz、 $\pm$ 0.1dB
THD+N	<0.02% (最小ゲイン、-1dBFS入力、22Hz/22kHz バンドパスフィルタ)
最大入力レベル	+13 dBu
ゲインレンジ	50dB
ライン出力	
ダイナミックレンジ	106dB (A特性)
最大出力レベル (0dBFS)	+10 dBu
THD+N	<0.002% (最小ゲイン、-1dBFS入力 1kHz、22Hz/22kHz バンドパスフィルタ)

ヘッドフォン出力	
ダイナミックレンジ	107dB (A特性)
最大出力レベル	>+10dBu
THD+N	<0.002% (最小ゲイン、-1dBFS入力、1kHz、22Hz/22kHz バンドパスフィルタ)

物理的特性と電気的特性

アナログ入力 1	
コネクタ	バランス、フロントパネル上のメス 3 ピンXLR経由
ファンタム電源	48V ファンタム電源スイッチ
アナログ入力 2	
コネクタ	フロントパネルの¼インチ (6.35mm) ジャックソケット INST モード: アンバランス、2 極 (TS) LINE モード: バランス (TRS)
アナログ出力	
メイン出力	アンバランス、リアパネルのフォノ (RCA) x 2 経由
ステレオヘッドフォン出力	フロントパネルの¼インチ TRS ジャック
出力レベルコントロール (メインおよびヘッドフォン)	フロントパネル上
ダイレクトモニタリング	入力のゼロレイテンシーモニタリングを可能にするフロントパネル上のスイッチ
その他の入出力	
USB	USB 2.0 タイプ B コネクタ x 1
フロントパネルのインジケータ	
USB 電源	緑色の LED
ゲイン Halo	色で示す LED リング
重量および寸法	
幅 x 高さ x 奥行	144mm x 44mm x 119mm 5.67 インチ x 1.73 インチ x 4.68 インチ
重量	0.43kg 0.95 ポンド

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関する質問がある場合は、次の Focusrite Answerbase のウェブサイトへアクセスしてください。
<https://support.focusrite.com/>に多くのトラブルシューティング例が掲載されています。

著作権表示と法定通知

Focusrite は登録商標であり、Scarlett Solo は Focusrite Audio Engineering Ltd.の商標です。

その他すべての商標および商品名は各所有者の財産です。

2016 © Focusrite Audio Engineering Limited. All rights reserved.